

第3回 全国障害者スポーツ大会 専門委員会 次第

日時:令和2年2月14日(金)

10時30分から12時00分まで

場所:三重県勤労者福祉会館6階 講堂

1 開会

2 挨拶

3 報告事項

- (報告事項1)「とこわかダンス座位バージョン」「イメージソング手話バージョン」の紹介
- (報告事項2) 式典実施計画(案)の概要について(競技・式典課)
- (報告事項3) ボランティアの募集等について
- (報告事項4) いきいき茨城ゆめ大会について
- (報告事項5) 三重とこわか大会競技会場整備設計にかかる基本的な考え方について
- (報告事項6) 三重とこわか大会プレイベント(三重とこわかポッチャ杯)について

4 審議事項

- (第1号議案) 三重とこわか大会リハーサル大会実施要綱(案)
- (第2号議案) 三重とこわか大会競技開始式・表彰式実施要項(案)

5 その他

文部科学省への後援名義使用について

6 閉会

第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会実施要綱(案)

1 目的

第21回全国障害者スポーツ大会リハーサル大会(以下「リハーサル大会」という。)は、第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」(令和3年10月23日～25日)の開催に備えて、競技運営、審判技術等の向上を図るとともに、三重とこわか大会に対する県民の理解と関心を深め、スポーツを通じた障がい者の社会参加の促進と障がい者スポーツの一層の発展に寄与することを目的とする。

2 主催

三重県、津市、四日市市、伊勢市、松阪市、鈴鹿市、志摩市、東員町、明和町、紀北町
公益社団法人三重県障害者団体連合会、一般財団法人三重県知的障害者育成会
特定非営利活動法人三重県精神保健福祉会、社会福祉法人三重県視覚障害者協会
一般社団法人三重県聴覚障害者協会、三重県身体障害者福祉施設協議会
三重県知的障害者福祉協会、三重県精神障がい者福祉事業所連絡協議会
一般社団法人三重県理学療法士会、一般社団法人三重県作業療法士会
三重県精神保健福祉士協会、社会福祉法人三重県社会福祉協議会
社会福祉法人三重県厚生事業団、公益財団法人三重県体育協会
一般社団法人三重県レクリエーション協会、三重県障がい者スポーツ協会
三重県障がい者スポーツ指導者協議会、三重県立特別支援学校長会

3 競技運営主管団体

一般財団法人三重陸上競技協会、一般社団法人三重県水泳連盟
三重県アーチェリー協会、三重県卓球協会、三重県障害者フライングディスク協会
三重県ボウリング連盟、みえボッチャ協会、一般社団法人三重県バスケットボール協会
三重県ソフトボール協会、三重県バレーボール協会、一般社団法人三重県サッカー協会

4 特別協賛

大同生命保険株式会社(予定)

5 協賛

※協賛企業を掲載予定。

6 協力企業・団体

※付帯サービス(車椅子修理所、補装具修理所)の協力団体を掲載予定。

7 大会期日

令和3年5月23日(日)、30日(日)、6月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、20日(日)

8 実施競技及び大会名

	実施競技	大会名
個人競技	陸上競技(身・知・精)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第24回三重県障がい者スポーツ大会陸上競技
	水泳(身・知)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会
	アーチェリー(身)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会
	卓球(身・知・精) [サウンドテーブルテニス (身)を含む]	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第24回三重県障がい者スポーツ大会卓球
	フライングディスク(身・知・ 精)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第24回三重県障がい者スポーツ大会フライングディスク
	ボウリング(知)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第24回三重県障がい者スポーツ大会ボウリング
	ボッチャ(身)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第24回三重県障がい者スポーツ大会ボッチャ
団体競技	バスケットボール(知)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第21回全国障害者スポーツ大会バスケットボール競技 北信越・東海ブロック予選会
	車いすバスケットボール(身)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第21回全国障害者スポーツ大会車いすバスケットボール競技 北信越・東海ブロック予選会
	ソフトボール(知)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第21回全国障害者スポーツ大会ソフトボール競技 北信越・東海ブロック予選会
	グランドソフトボール(身)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会
	フットベースボール(知)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第21回全国障害者スポーツ大会フットベースボール競技 北信越・東海ブロック予選会

団体競技	バレーボール(身)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第21回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技 (聴覚障害の部)北信越・東海ブロック予選会
	バレーボール(知)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第21回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技 (知的障害の部)北信越・東海ブロック予選会
	バレーボール(精)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第21回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技 (精神障害の部)北信越・東海ブロック予選会
	サッカー(知)	第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」 リハーサル大会 兼 第21回全国障害者スポーツ大会サッカー競技 北信越・東海ブロック予選会

※リハーサル大会においてはオープン参加として、全国障害者スポーツ大会とは異なる障害区分の競技を行うことがある。

(注) 身＝身体障がい者が出場できる競技
知＝知的障がい者が出場できる競技
精＝精神障がい者が出場できる競技

9 実施競技、開催期日及び会場

	実施競技	開催期日	会場名
個人競技	陸上競技(身・知・精)	6月6日(日)	三重交通G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場
	水泳(身・知)	5月23日(日)	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場
	アーチェリー(身)	5月23日(日)	松阪市総合運動公園 芝生広場
	卓球(身・知・精) [サウンドテーブルテニス (身)を含む]	6月20日(日)	三重県営サンアリーナ(メインアリーナ)
	フライングディスク(身・知・精)	6月6日(日)	東員町スポーツ公園陸上競技場
	ボウリング(知)	6月20日(日)	津グランドボウル
	ポッチャ(身)	6月20日(日)	三重県営サンアリーナ(サブアリーナ)
	団体競技	バスケットボール(知)	6月5日(土)、 6日(日)
車いすバスケットボール(身)		6月5日(土)、 6日(日)	津市産業・スポーツセンター (サオリーナ)

団体競技	ソフトボール(知)	5月30日(日)	赤羽公園野球場、 赤羽公園多目的グラウンド
	グランドソフトボール(身)	5月30日(日)	明和中学校第2グラウンド
	フットベースボール(知)	5月30日(日)	長沢野球場、長沢多目的広場
	バレーボール(身)	6月13日(日)	四日市市総合体育館
	バレーボール(知)	6月12日(土)、 13日(日)	四日市市総合体育館
	バレーボール(精)	6月12日(土)、 13日(日)	津市安濃中央総合公園内体育館
	サッカー(知)	6月5日(土)、 6日(日)	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 サッカー・ラグビー場

※ 申込状況等に応じて期日に変更になる場合がある。

10 出場資格

(1) 出場選手は、次の全ての条件を満たす者とする。

ア 年齢要件は次のとおりとする。

(ア) 個人競技については、令和3年4月1日現在で中学生以上である者。(リハーサル大会における記録は第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に出場する三重県の選手を選考する際の参考資料となるため、「いちご一会とちぎ大会」の出場資格を満たす中学生の参加を認める)。

(イ) 団体競技については、令和3年4月1日現在で13歳以上である者。

イ 資格要件は次のとおりとする。

(ア) 身体障がい者は、身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者。

(イ) 知的障がい者は、厚生事務次官通知(昭和48年9月27日厚生省発児第156号)による療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。

(ウ) 精神障がい者は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条により、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。

ウ 個人競技については、原則として三重県内に現住所を有する者又は三重県内に所在する施設や学校等に入所、通所及び通学している者(ただし、水泳、アーチェリー及びボッチャにおいては、近隣府県からの参加を可能とする。)

エ 団体競技については、申込み時に参加する県・指定都市に現住所を有する者。

ただし、学校に通学している者及び施設に入所・通所している者は、その学校及び施設の所在地の県・指定都市でも参加できるものとする。

(2) 団体競技については、原則として全国障害者スポーツ大会開催基準要綱細則3(1)に規定する北信越・東海ブロックの県・指定都市の代表チーム。

11 競技規則

適用する競技規則は、令和3年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定。以下「大会競技規則」という。)及び別に定める競技別実施要領によるものとする。

12 競技・種目及び障害・年齢区分

- (1) 競技・種目及び障害区分は、<別表1>「第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」リハーサル大会競技・種目」のとおりとする。
- (2) 大会競技規則第2条3に定める年齢区分の基準日は、令和3年4月1日とする。

13 出場制限

(1) 個人競技

個人競技に出場する選手は、複数の競技に出場できるものとする。ただし、同一開催日においては1競技のみ出場できるものとする。

ア 陸上競技・水泳に出場する選手は、原則として2種目まで(リレー種目に出場する選手は3種目まで)出場できるものとする。

イ フライングディスクに出場する選手は、アキュラシー1種目とディスタンスの計2種目に出場できるものとする。

ウ アーチェリーに出場する選手は、1種目のみの出場とする。

(2) 団体競技

団体競技に出場する選手は、他の団体競技には出場できない。

個人競技の出場資格を満たす選手においては、同一開催日でない個人競技には出場できるものとする。

14 監督会議

開催する場合、時間及び会場は別に定める。

15 健康・安全管理

健康・安全管理については、参加者各自及びその保護者または所属施設等において十分配慮するものとし、主催者においては、応急の処置のみを行うものとする。

16 参加申込及び参加費用

- (1) 個人競技の参加選手については、別に定める手続により出場選手の競技・種目の申込みを行う。団体競技の参加チーム及び出場選手については10(2)の県・指定都市が派遣するものとし、別に定める手続により申込みを行う。
- (2) 参加料は無料とする。なお、選手の参加に要する費用は、参加者において負担するものとする。
- (3) 大会当日、各会場にテレビ、新聞等の報道機関が来場するとともに、大会期間前後で選手の名前、写真、映像等がテレビ、新聞等で報道されることがある。また、大会プログラム、会場内結果速報、県及び実行委員会のウェブページに、名前、性別、障害区分、年齢区分、所属、競技中の写真及び競技記録等を掲載し、場合によって県広報誌等に競技中の写真及び競技記録等を掲載すること

があるので、このことを了承の上、申し込むこと。

17 その他

- (1)リハーサル大会における個人競技の記録は、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に出場する三重県の選手を選考する際の参考資料とする。
- (2)各競技は雨天決行とする。ただし、主催者が荒天又はその他の都合で実施できないと判断した場合は中止とする。
- (3)参加者は環境に配慮した大会運営に努めることとする。
 - ア できる限り公共交通機関を利用して来場すること。
 - イ ゴミは各自持ち帰ること。
- (4)この要綱に定めるもののほか、リハーサル大会の実施に関して必要な事項は別に定める。

附則

この要綱は、令和*年*月**日から施行する。

<別表1> 第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」リハーサル大会競技・種目

※全国障害者スポーツ大会競技規則が改訂された場合、その改訂内容に応じて各表を変更することとする。

1. 陸上競技

◎男女別・年齢区分別 △男女混合・年齢区分なし ▲男女別・年齢区分なし ○オープン参加

区分番号	障害区分	競走							跳躍			投てき					
		※2	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	※1	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビンバグ投	
		50m						4×100mリレー									
1	上肢	1	手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎								◎	◎	◎	◎	◎
		2	両前腕切断または、片前腕および片上腕切断 両上肢不完全	◎	◎				◎		▲	◎	◎				
		3	両上腕切断または、両上肢完全	◎	◎						▲	◎	◎				
	下肢	4	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
		5	片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	
		6	両下腿切断	◎	◎							◎		◎	◎	◎	
		7	片下腿および片大腿切断 両下肢不完全	◎								◎		◎	◎	◎	
	8	両大腿切断または、両下肢完全											◎	◎	◎		
	体幹	9	体幹 ※3	◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	◎	
2	脳原性麻痺以外で 車いす常用、使用	10	第6頸髄まで残存	◎	◎				◎							◎	
		11	第7頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎								◎
		12	第8頸髄まで残存		◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎	
		13	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎	
		14	下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎	
		15	その他の車いす		◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎	
3	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	16	四肢麻痺で車いす使用	◎					◎								◎
		17	けって移動	◎					◎								◎
		18	片上下肢で車いす使用	◎					◎						◎	◎	
		19	上肢で車いす使用	◎	◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎	
		20	その他走不能											◎	◎	◎	
		21	上肢に不随意運動を伴う走可能	◎	◎	◎		◎				◎	◎	◎	◎	◎	
		22	その他走可能	◎	◎	◎		◎				◎	◎	◎	◎	◎	
4	23	電動車いす常用						◎								◎	
視覚障害 ※5	24	視力0から0.01まで ※6	◎	◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎	◎	
	25	その他の視覚障害	◎	◎	◎		◎	◎					▲	◎	◎	◎	
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害	26	聴覚障害	◎	◎	◎		◎	◎					▲	◎	◎	◎	
知的障害	27	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎		△	▲	◎	◎		◎	◎	
内部障害	28	ぼうこう又は直腸機能障害	◎					◎					◎	◎		◎	
	29	その他の内部障害 ※7	◎					◎					◎	◎		◎	
精神障害	30	精神障害 ※7	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎	

※1 4×100mリレーは男女混合とする。
 ※2 50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。
 ※3 体幹とは頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエス等による体幹の障害が該当する)。ただし、四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない。
 ※4 複数の障害区分にわたり1つの◎がついている場合は、一つの区分として競技をおこない、順位を決定する。
 ※5 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。視力を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁は視力0.01とする。
 ※6 障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。
 ※7 障害区分29および30はオープン参加とし、第22回全国障害者スポーツ大会への選考対象外とする。

2. 水泳

◎男女別・年齢区分別 ○男女別・1部 ●男女別・2部 △男女混合・年齢区分なし

			自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ		※1	※1			
			25m	50m	25m	50m	25m	50m	25m	50m	4×50mリレー	4×50mリレー			
区分番号			障害区分												
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			2	片前腕切断または、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			3	片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			4	両前腕切断または、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			5	両上腕切断または、両上肢完全 片前腕および片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
	1	下肢	6	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			7	片大腿切断または、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			8	両下腿切断または、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			9	両大腿切断または、両下肢完全 片下腿および片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎				
	1	上下肢	10	片上肢切断および片下肢切断 片上肢不完全および片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎				
			11	多肢切断または、片上肢完全および片下肢完全 両上肢不完全および両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎				
	3	脳原性麻痺以外 で車いす常用	12	体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
2			脳原性麻痺以外 で車いす常用	13	第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎					
				14	第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
				15	下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
				16	下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
3			脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	17	四肢麻痺(車いす常用)または、 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎					
				18	両下肢麻痺または、 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
				19	片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎			
				20	その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
				21	その他走可能	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
4			22	浮具使用	◎	◎	◎		◎						
視覚障害 ※2			23	視力0から0.01まで ※3	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
	24	その他の視覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○					
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害	25	聴覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○					
知的障害	26	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△			

※1 リレー、メドレーリレーは男女混合とする。

※2 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。視力を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁は視力0.01とする。

※3 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

■ 障害区分のスタートは、水中スタートをしなくてはならない。

3. アーチェリー

●男女別

	区分番号	障害区分	リカーブ		コンパウンド	
			50m・30m	30m・30m	50m・30m	30m・30m
肢体不自由	1	第8頸髄まで残存	●	●	●	●
		その他の車いす	●	●		
	2	切断・機能障害	●	●		
		上肢障害	●	●		
		下肢障害 (椅子・車いす使用を含む)	●	●		
	3	体幹	●	●	●	●
4	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	●	●			
	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	●	●			
聴覚・平衡機能障害、 音声・言語・そしゃく機能障害	7	聴覚障害	●	●		
			●	●		
内部障害	8	ぼうこう又は直腸機能障害	●	●		

※「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

4. 卓球

◎男女別、年齢区分別 ●男女別 ○オープン参加

			区分番号	障害区分	卓球	STT
肢体不自由	1	上肢障害	1	片上肢障害	◎	
			2	両上肢障害	◎	
		下肢障害	3	片下腿切断または、片下肢不完全	◎	
			4	片大腿切断または、両下腿切断 片下肢完全または、両下肢不完全	◎	
			5	片下腿および片大腿切断 両大腿切断または、両下肢完全	◎	
		6	体幹	◎		
	2	脳原性麻痺以外で車いす 常用、使用	7	第8頸髄まで残存 ※1	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他の車いす	◎	
	3	脳原性麻痺 (脳性麻痺、脳血管疾患、 脳外傷等)	10	車いす使用	◎	
			11	杖または、松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随意運動あり	◎	
			13	上肢に不随意運動なし	◎	
			14	片側障害	◎	
視覚障害 ※2			15	アイマスク有り ※3		◎
			16	アイマスク無し	◎	
聴覚・平衡機能障害、 音声・言語・そしゃく機能障害			17	聴覚障害	◎	
知的障害			18	知的障害	◎	
精神障害			19	精神障害	●	
内部障害			20	内部障害 ※4	○	

※1 「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

※2 視力・視野の程度に関わらず、アイマスクの有無で出場競技を分ける。

※3 障害区分15は、各自で用意したアイマスクまたはアイシェードを装着する。

※4 障害区分20はオープン参加とし、第22回全国障害者スポーツ大会への選考対象外とする。

5.フライングディスク

◎区分なし ●男女別 ○オープン参加

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢体不自由	◎	◎	●	●
視覚障害				
聴覚障害				
知的障害				
内部障害(ぼうこう又は直腸機能障害)				
内部障害(その他の内部障害) ※1	○	○	○	○
精神障害 ※1				

※1 その他の内部障害及び精神障害はオープン参加とし、第22回全国障害者スポーツ大会への選考対象外とする。

6.ボウリング

知的障がい者で男女別、年齢区分別に実施する。

7.ボッチャ

◎男女区別・年齢区分無し

	区分番号	障害区分・解説	競技スタイル		
			立位	座位	
肢体不自由	I	切断・機能障害	◎		
	II	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	2	第6頸髄まで残存 【解説】肩関節周辺の筋力はほぼ正常な四肢麻痺者(肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常)	◎
			3	第7頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者(肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈が正常だが、物がにぎれない)	◎
			4	第8頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲と手関節周囲の筋力はほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者(把持能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない)	◎
			5	多肢切断 【解説】上肢・下肢の4肢のうち3肢体を切断し、車いすや椅子に座った姿勢で競技する者	◎
			6	四肢麻痺で車いす常用 【解説】脳原生麻痺により四肢に著しい可動域制限や協調運動障害がある者で両上肢駆動による車いす使用者	◎
	III	脳原性麻痺(脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	7	けて移動 【解説】脳原生麻痺による両上肢の障害が重度のため両下肢または片下肢で車いすを駆動させる者	◎
			8	片上下肢で車いす常用、または使用 【解説】脳原生麻痺による片側障害で、動かすことができる側の上半身と下半身で車いすを操作する者	◎
			9	その他走不能 【解説】脳原生麻痺による下肢障害で、杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることをできない者	◎
	IV		10	電動車いす常用 【解説】脳原生麻痺や脳原生麻痺以外の四肢麻痺者で、日常的に電動車いす(JIS T9203)を使用している者	◎
	V		11	その他の車いす(四肢麻痺以外、電動車いすを含む) ※1	○

※1 障害区分11はオープン参加とし、第22回全国障害者スポーツ大会への選考対象外とする。

※ 座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

※ 座位で競技する選手(区分2~8、10及び11)で、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者及びランプ使用者について、選手1名につき1名の競技アシスタントを認める。

※ 立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

8. バスケットボール
知的障がい者で、男女別に実施する。
9. 車いすバスケットボール
肢体不自由者の車いす使用者で、競技規則第8部第3条の規定に該当する者。
10. ソフトボール
知的障がい者のみの競技とする。
11. グランドソフトボール
視覚障がい者のみの競技とする。
12. バレーボール
聴覚障がい者と知的障がい者で、男女別に実施する。
精神障がい者は、男女混合とする。
13. サッカー
知的障がい者のみの競技とする。
14. フットベースボール
知的障がい者のみの競技とする。

三重とこわか大会競技開始式・表彰式実施要項(案)

1 趣旨

この要項は、三重とこわか大会開催基本計画に基づき、各競技の開始式及び表彰式の実施について必要な事項を定める。

2 実施方法

三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会及び競技運営主管団体が会場地市町と協議のうえ、協力して実施する。

3 実施内容

開始式および表彰式の内容は概ね次のとおりとするが、会場の特性や選手のコンディション等の諸条件に配慮し、必要に応じて簡素に行うものとする。

(1)開始式

- ア 開式通告
- イ 選手・役員入場
- ウ 開会宣言
- エ あいさつ
- オ 歓迎のことば
- カ 選手宣誓
- キ 閉式通告
- ク 選手・役員退場

(2)表彰式

- ア 開式通告
- イ 選手・役員入場
- ウ 成績発表
- エ 表彰
- オ あいさつ
- カ 閉会宣言
- キ 閉式通告
- ク 選手・役員退場

4 表彰

全国障害者スポーツ大会開催基準要綱第14項に基づき、次のとおりとする。

- (1) 個人競技については、各組単位で、原則として同一区分毎に1位から3位までの選手にメダルを授与する。
- (2) 団体競技については、優勝チームに賞状、優勝杯等、2位、3位のチームに賞状、1位から3位までの選手にメダルを授与する。

5 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項については、関係者が協議のうえ決定する。

附則 この要領は、令和 年 月 日から施行する。

「とこわかダンス座位バージョン」「イメージソング手話バージョン」の紹介

三重とこわか国体・三重とこわか大会のイメージソング「未来に響け」に合わせた「とこわかダンス」に新たに「座位バージョン」を制作するとともに、リズムと歌詞を手話で表現する「イメージソング 手話バージョン」を作成しました。

1 とこわかダンス座位バージョン

イメージソング「未来に響け」に合わせて制作した「とこわかダンス」は、イージーバージョンとスタンダードバージョンの2種類あります。

障がいのある方やご年配の方など、より多くの皆さんに「とこわかダンス」に取り組んでいただき、県全体が両大会に向けてさらに盛り上がるよう、新たに「座位バージョン」を制作しました。

(1)振付者

三重大学教育学部 後藤洋子教授

(2)振付の概要

とこわかダンスのイージーバージョンとスタンダードバージョンの振付と親和性があり、座ったままでダンスに取り組んでいただける振付となっています。

2 イメージソング手話バージョン

「イメージソング 手話バージョン」は、手話をコミュニケーションの手段の一つとしている聴覚障がい者だけでなく、さらに多くの方に知っていただき楽しんで関わっていただけるように制作しました。

(1)手話協力

三重県聴覚障害者協会、情報支援ボランティア養成検討委員会

(2)概要

イメージソング「未来に響け」のダンスバージョンの比較的ゆつくりとしたリズムに、歌詞中にでてくることばに、明るくはっきりとした手話をつけました。どなたでも取り組みやすい内容となっています。

次 第

<開会式> 2021年10月23日（土）
選手団・役員 3,600名程度

時刻	次第
5:00	実施態度決定 開場 (選手団・役員受付開始)
9:10	オープニングプログラム開始 (選手団・役員受付終了)
9:20	入場締切 (選手団・役員集合完了) 皇族御着席
10:00	開式通告 選手団・役員入場 開会宣言・大会会長あいさつ 国旗掲揚 大会旗・県旗・伊勢市旗掲揚 文部科学大臣あいさつ 皇族のお言葉 炬火入場・点火 選手代表宣誓 式典演技
11:11	閉式通告 皇族御退席
11:13	選手団・役員退場 (エンディングセレモニー)
11:47	終了

<閉会式> 2021年10月25日（月）
選手団・役員 6,000名程度

時刻	次第
5:00	実施態度決定 (競技終了)
14:00	開場 (選手団・役員受付開始) (選手団・役員受付終了)
15:00	オープニングプログラム開始 (選手団・役員集合完了) 皇族御着席
15:30	開式通告 大会会長あいさつ スポーツ庁長官あいさつ 皇族のお言葉 大会旗・県旗・伊勢市旗降納 国旗降納 大会旗引継 炬火納火 閉会宣言
15:54	閉式通告 ファイナルステージ 皇族御退席
16:32	選手団・役員退場
16:51	終了

オープニングプログラム（開・閉会式）

<開会式>
三重の魅力を感じていただくとともに、大会への期待が高まる映像やライブパフォーマンス等を実施します。
<閉会式>
繰り広げられた熱戦の振り返りや選手の活躍を称える映像プログラム等を実施します。



エンディングセレモニー（開会式）

これから始まる大会における選手の活躍を祈るとともにエールを送り、参加するすべての人が感動を共有する内容とします。

ファイナルステージ（閉会式）

両大会のフィナーレとして、本県ゆかりのアーティストによる、会場を感動で包むコンサートを実施します。

式典音楽

【式典音楽隊編成】

<吹奏楽隊>
高等学校、一般団体等で編成

<歌唱隊>
本県出身のプロ奏者で編成

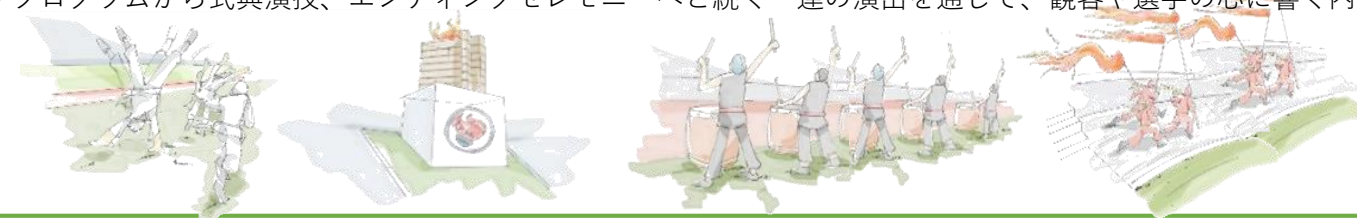
【式典音楽使用曲】

- 30回みえ国体記念行進曲「ブルー・マリーン」
- H30インターハイ音楽行進曲「未来絵」
- イメージソング「未来に響け」
- とこわか記念行進曲（仮）
- 三重メドレー
- ファンファーレ 等



式典演技

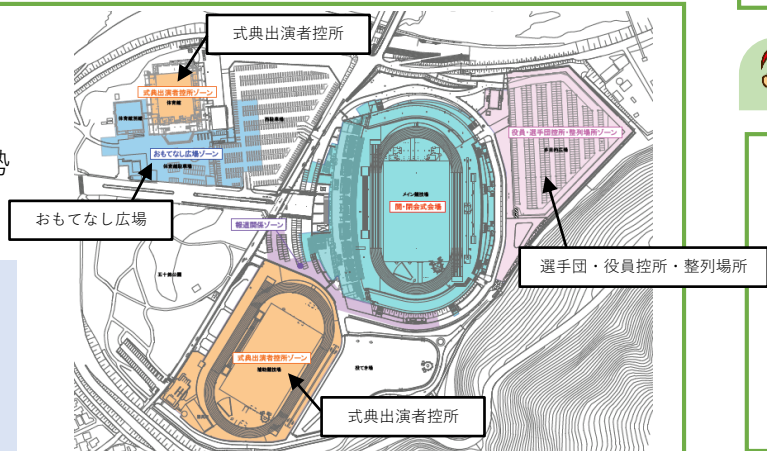
- 三重らしさあふれる、これまでにない魅力に満ちた式典演技をめざします。
- 県内外から訪れる選手の皆さんに向けて、会場が一体となって応援とおもてなしの心を伝えます。
- 大会の愛称「とこわか」に込められた思いをストーリー性豊かな演技で表現します。
- オープニングプログラムから式典演技、エンディングセレモニーへと続く一連の演出を通じて、観客や選手の心に響く内容とします。



会場配置図

【開・閉会式会場】
三重交通G スポーツの杜 伊勢
(三重県営総合競技場)

気象条件等により、会場において式典参加者の安全が確保できない場合は、荒天時会場（屋内会場）での開・閉会式を予定しています。



炬火

炬火イベント

全市町（29市町）において、炬火の採火・炬火イベントを実施

集火式

29市町の火を1つに集火

国体

<総合開会式>
炬火入場・点火
↓
<総合閉会式>
炬火分火・納火

大会

<開会式>
炬火入場・点火
↓
<閉会式>
炬火納火

三重とこわか国体・三重とこわか大会ボランティアの募集等について

1 概要

三重とこわか国体・三重とこわか大会を県民力を結集した大会とするため、県民の皆さんにボランティアとして参加していただけるよう、両大会の開・閉会式や大会の競技会場で活動していただく各種ボランティアの募集を、昨年10月25日(金)から開始しました。

なお、移動支援ボランティアについては、だれもが参加しやすい大会づくりに向けた全国初の取組として、三重県から初めて募集を行っています。

2 ボランティアの種別 ※太枠内のボランティアを昨年10月から募集開始。

	種別	活動内容	募集人数		対象※1
			国体	大会	
県	運営ボランティア	国体・大会の開・閉会式の運営補助(受付・案内、会場整理・美化など)	1,000人	2,700人	中学生以上
		大会の競技会の運営補助(受付・案内、会場整理・美化など)	—		
	情報支援ボランティア	国体・大会の開・閉会式や大会の競技会において、手話・筆談、要約筆記により、情報保障や案内などを行う。	600人		18歳以上(高校生を除く)で、手話や要約筆記の経験等がある方
	移動支援ボランティア	国体・大会の開・閉会式や大会の競技会において、視覚障がい者や車いす利用者等に対する介助・誘導等を行う。	100人		18歳以上(高校生を除く)で、移動支援においてさまざまな配慮ができる知識、経験がある方
	選手団サポートボランティア	大会に参加する選手及び役員の案内・介助・誘導等の支援を行う。	—	1,200人	大学生、専門学校生等
	広報ボランティア(※2)	PRイベント等における国体・大会の広報活動	317人 ※R2.1末時点登録人数		中学生以上
市町	国体競技会運営ボランティア	国体競技会の運営補助(受付・案内、会場整理・美化、会場サービスなどを行う)	各市町で募集	—	各市町で決定

(※1)年齢要件については、令和3年4月1日時点としています。

(※2)平成28年度から募集を開始しています。

3 ボランティアの応募状況について

令和2年1月末現在

区分	運営 ボランティア	情報支援 ボランティア	移動支援 ボランティア	選手団サポート ボランティア
人数	689人※	231人	26人	1600人

※延べ人数

4 ボランティアの確保について

両大会を支えていただくボランティアとしてたくさんの方に参加していただけるよう、今後も広報活動やとわか運動(県民運動)の推進により情報発信を行っていくほか、関係団体を通じて働きかけを行っていきます。

なお、選手団サポートボランティアについては、すでに県内20校の看護、福祉、教育系の大学、専門学校等から協力の内諾を得ており、必要数を確保できる見込みです。

5 ボランティアの養成について

(1)令和元年度の取組

ア 産学官連携ボランティア公開講座の開催

令和2年2月1日に、選手団サポートボランティア養成協力候補校の三重大と清水建設(株)の協力を得て、開催しました。約180名が参加し、パラアスリートの生の声を聞くほか、移動支援の実技体験を通して、障がい者スポーツやボランティアの基礎を学ぶことができました。



公開講座の様子

イ 情報支援ボランティアリーダー養成講座の開催

令和元年9月15日と12月21日に情報支援ボランティアリーダー養成講座を開催しました。情報支援ボランティアリーダー候補の約60名が参加し、9月は、愛媛大会のリーダーの方から実際の経験を聞き大会が始まるまでの心構えを学ぶことができました。

12月には、接遇マナー講師から社会人基礎力やチームとしての対応方法を受講し、ボランティアがチームとして取組む重要性を学ぶことができました。

(2)令和2年度の取組

ア 運営ボランティア・移動支援ボランティア

令和2年10月以降に研修会を実施予定。

イ 情報支援ボランティア

時期:令和2年5月から養成講座を実施。

場所:四日市市、鈴鹿市、津市、伊勢市の各会場

方法:実行委員会事務局職員、情報支援ボランティア検討委員による講義等

ウ 選手団サポートボランティア

時期:令和2年4月から各養成協力候補校において順次研修を開始

場所:各養成協力候補校

方法:既存講座の活用, 講座の新設, 集中講義 等

三重とわか大会競技会場整備設計にかかる基本的な考え方について

会場整備に当たっての基本的な考え方

- 「第21回全国障害者スポーツ大会会場地バリアフリー等基本方針」に基づき、基本目標である利用しやすい会場づくり、わかりやすい情報の提供を実現することにより、あらゆる人の気持ちに寄り添う会場整備を行います。
- 「利用しやすさに配慮した会場づくり」「わかりやすさに配慮した会場づくり」を実現するため、会場整備におけるゾーニング、動線計画の考え方、バリアフリー対策、荒天時対応、サイン(案内表示)計画、情報保障機器等の配置計画などの観点から必要な対策を実施します。
- 安全性、快適性、簡素・効率化の視点に留意した整備を行います。
- 今回の大会で実施するユニバーサルデザインに係る取組については、今後の大規模なイベント等に活かせるよう、参加者へのアンケート等を実施して効果を検証します。

① 利用しやすさに配慮した会場づくり

障がいの有無、年齢、性別、性自認、性的指向などにかかわらず、あらゆる人が快適に利用しやすい会場づくりを実施します。

ゾーニング

- (1) 選手団、観覧者、大会運営関係者(ボランティアを含む)、競技運営関係者ごとに動線や利用形態が異なることから、それぞれ明確なゾーニングを行い、円滑で安全な大会運営が可能となる会場づくりを目指します。
- (2) 各ゾーン配置においては、セキュリティを高めるゾーニングを基本として会場づくりを行います。
- (3) 来場者が集まりやすい場所に、おもてなし広場を設置して「三重」の魅力の発信とおもてなしによる交流を図ります。

動線計画

- (4) 安全な動線を確保するため、選手団、観覧者の動線が重ならないよう適切な動線計画を作成します。
- (5) 競技会場の出入り口付近におもいやり駐車場を設け、車いす使用者等の安全な動線を確保します。

バリアフリー

- (6) 動線上の安全性を確保するため、仮設スロープによる段差解消、適切な通路や通路幅の確保、または仮設通路の設置、危険箇所・障害物の表示などを行います。
- (7) 仮設トイレ設備の設置に関しては、障がいの有無や年齢、性別、性自認などにかかわらず、すべての人が利用しやすい仮設トイレ(多機能トイレ、オストメイトトイレなどを含む。)を設置します。
- (8) すべての会場の案内所等に、移動支援ボランティアを配置し、障がいの特性や性自認、性的指向などに配慮した対応を実施します。

(9)選手団には、選手団サポートボランティアを配置し、選手が競技に集中できる環境づくりを行います。

荒天時等対応

(10)選手団控所、一般観覧者席、競技運営関係者席などでは、雨天対策や床養生などの対応を行い、快適な会場環境を確保します。

(11)大会中に災害が発生した場合、または災害が発生するおそれがある場合には、三重県防災対策部や各市町防災担当部署の情報を確認し、適切な対応を図ります。

また、「きこえないんです ～災害時の支援について～」(三重県聴覚障害者支援センター発行)などを参考にし、さまざまな障がい等に応じた適切な対応を図ります。

② わかりやすさに配慮した会場づくり

必要な情報を容易に得ることができる会場づくりを行います。

サイン

(1)動線計画に対応したサイン誘導計画の策定を行い、駐車場から会場、会場敷地からの入退場口、選手団席、関係者控所、観覧席などへ、また仮設トイレ、喫煙所などへの円滑な動線を確保するために、必要な箇所に誘導看板を設置します。

また、トイレには音声誘導装置を設置するなど障がいの特性に配慮した誘導を行います。

(2)人が集まる受付、案内所等は、なるべく会場の出入口に近い場所に設置します。

また、会場案内板もこの近くに設置し、主要な施設、設備等の案内表示を行います。

(3)各種の案内表示については、文字を多用することなく、ピクトサインなどを活用し、容易に必要な情報を得ることができるようなものとします。

(4)サインについては、各施設や設備への誘導表示、諸室表示、各規制表示を目的とします。

いずれも、視認性に配慮した標記とします。

情報保障機器

(5)観客が大会を快適に楽しむことができるよう、会場内の目的地への移動を支援するシステムなど、ICTを利活用した新たな支援ツールを検討します。

(6)すべての会場において、手話や要約筆記を行う情報支援ボランティアを配置した情報保障席を設置するとともに、必要に応じて、ヒアリングループなど情報保障関係の機器を設置します。

三重とこわか大会プレイベント（三重とこわかボッチャ杯）

三重とこわか大会から新しく正式競技となるボッチャの交流大会「三重とこわかボッチャ杯」を開催し、三重とこわか大会への関心を高めるとともに、県民力を結集した大会へとつなげる

三重とこわかボッチャ杯の仕組み

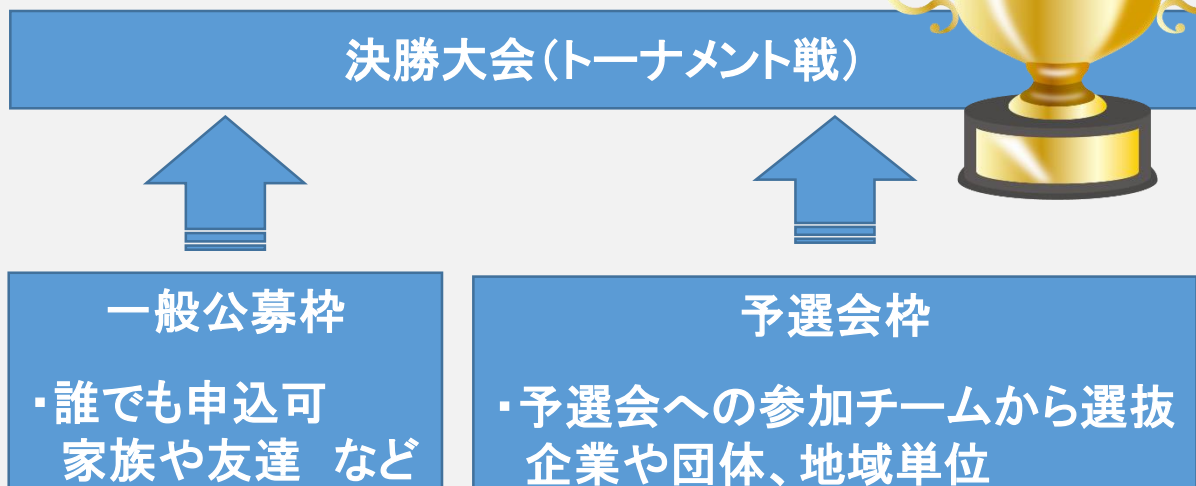
<ルール>

- ・チーム(3人1組)での対戦
- ・三重県ナンバー1を決める

<参加方法>

- ・一般公募枠
- ・予選会枠

の2パターン



地域や企業・団体内での予選会開催を広く呼びかける

- ・福利厚生
- ・レクリエーション活動
- ・市町民体育大会 など ⇒ **県民力を結集した大会へ**

とこわか運動として参画



三重とこわか大会プレイベント（ICTの実証①）

三重とこわか大会の情報環境の整備に向けて、ICTを活用した支援ツールの実証試験を行い、導入に向けた課題や効果を把握する。

ICTの実証①:スポーツ観戦ツール

<現 状>

- ・試合の状況が分からない、会場のアナウンスが聞こえない
(視覚障がい者、聴覚障がい者など)
- ・ルールが分からない
(障がい者スポーツに馴染みがない)

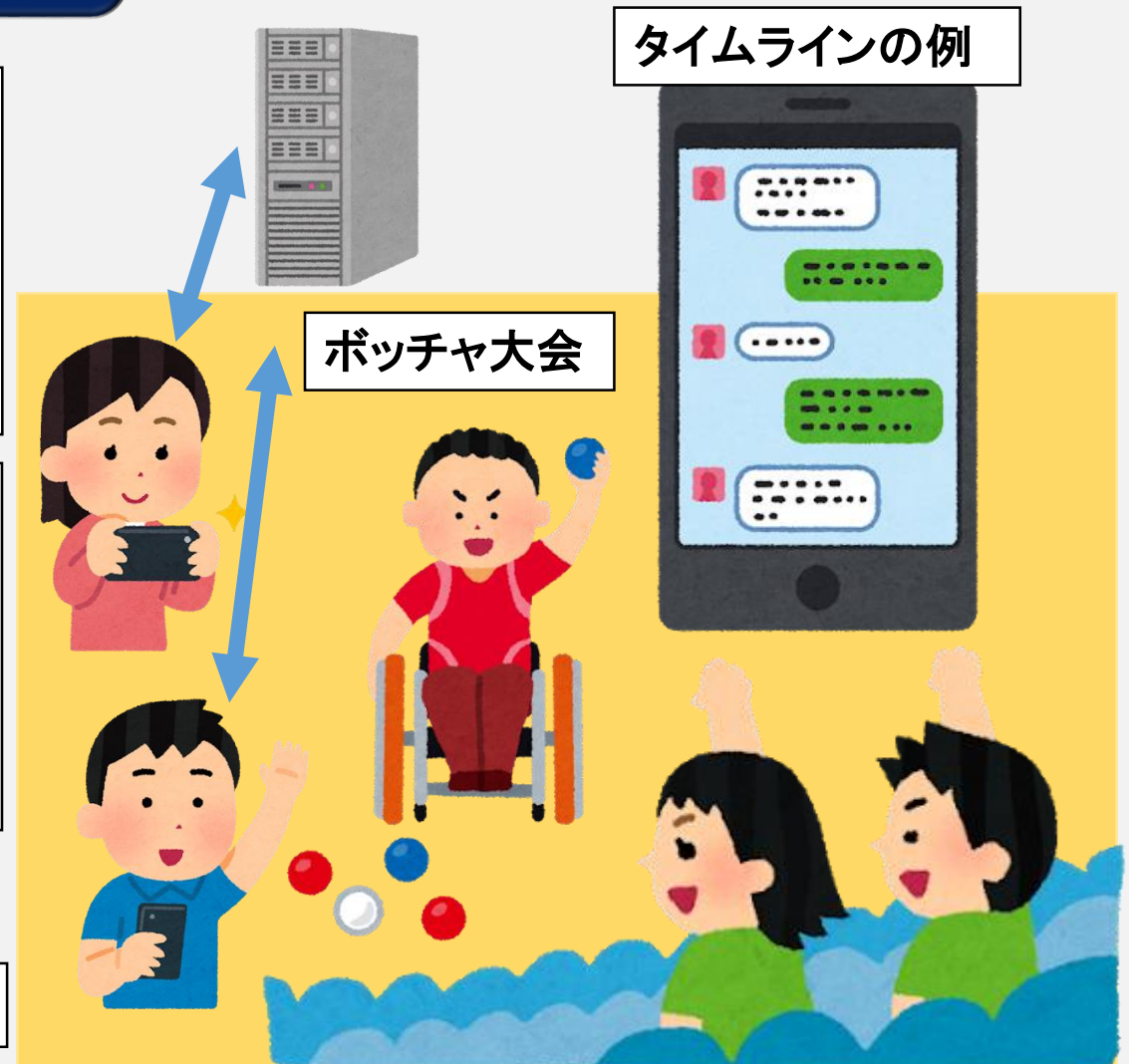
観戦者が互いにタイムラインに投稿し、文字情報や音声で

- ・試合の流れや状況がわかる
- ・選手やチームの情報がわかる
- ・タイムライン上で交流ができる
- ・情報保障を補完

誰もが楽しむことができる大会へ

決勝大会に合わせて実施

タイムラインの例



三重とこわか大会プレイベント事業（ICTの実証②）

三重とこわか大会の情報環境の整備に向けて、ICTを活用した支援ツールの実証試験を行い、導入に向けた課題や効果を把握する。

ICTの実証② 歩行者ナビゲーションシステム

<現 状>

- ・会場内の移動が不安
(視覚障がい者、車いす使用者 など)
- ・お手洗いが心配
(トイレはどこか、空いているのか)

専用のアプリをインストールしたスマートフォンが地図と音声により案内

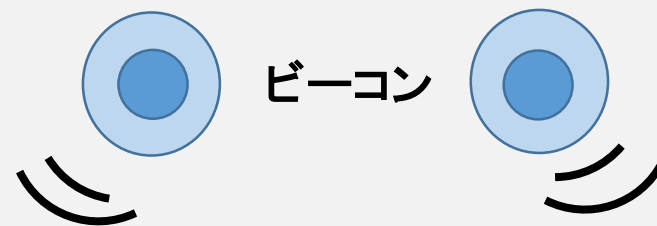
- ・目的地までの移動を手助け
- ・トイレの利用状況が分かる



誰もが参加しやすい大会へ

決勝大会に合わせて実施

会場に設置した機器で
位置情報を把握



受付で操作方法を説明

